

大人のためのお話し会

絵本や紙芝居を使わず、言葉だけで物語を語り聞かせるストーリーテリングを行います。

小学校高学年以上ならどなたでもご参加ください。参加無料、申込不要です。

☆日時：10月5日(日) 午前11時から11時30分(午前10時45分受付開始)

☆場所：可児市立図書館 本館 3階会議室

☆語り手：ストーリーテリングの会 おはなしの泉

☆内容：「豪傑ナザル」(トルコの昔話)、「みそ買い橋」(日本の昔話)、
「月を射る」(中国の昔話)

※演目は変更することがあります。ご了承ください。



図書館本館1階展示コーナー

令和6年度清流の国ぎふ・ おすすめの1冊コンクール入賞作品展

開催中 ~10/12(日)まで

読んで感動した本、人生を変えた本、役に立った本など、おすすめしたい本について紹介する「おすすめの1冊コンクール」で、紹介文・POP・イラストPOPの3部門で入賞した作品を展示します。



『家族の日、家庭の日』展

10/14(火) ~11/16(日)まで

毎年11月の第三日曜日は家族の日、そして毎月第三日曜日は家庭の日です。可児市で開校している家庭教育学級や乳幼児学級ほっとの活動の様子を紹介します。



あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・コンピュータ			
024.8/ト/	踊る絵本屋	富樫チト／著	緑のゆび
圧倒的な蔵書の魅力に惹かれ、日々全国から絵本好きが集う吉祥寺の絵本専門古書店「MAIN TENT」。プロダンサーでもある店主チトが絵本屋の一日や絵本の選び方などを紹介する。登場した本のリストも掲載。			
哲学・心理・宗教			
159.7/1/	89 歳名医のいきいき生活術	石川恭三／著	河出書房新社
89 歳の名医による、老い方上手の処方箋。「年齢を捨て、新しい可能性を探しましょう」「五感を磨き、生きる喜びを感じましょう」など、認知症予防、老化防止に役立つ日々の習慣を教えます。			
歴史・地理			
290.4/コ/	世の中のアレコレを地理で考えてみた	小林知之／著	三笠書房
日本のバナナはなぜほとんどがフィリピン産なの？ なぜパンダは中国に返さなきゃいけないの？ どうして原宿はオシャレな街になったの？ 身近な「なぜ」を地理の視点でユルく、でもちょっと真面目に紹介する。			
292.1/ル/	これでわかる!韓国のくらしの常識	ルナ・キョン／文	原書房
通貨や言葉、礼儀作法、韓国料理、祝日とお祭り、韓服や武芸、K-POP や韓国ドラマ、観光地…。伝統的な文化や最先端の流行まで、気になる韓国の日常の 1 コマをかわいいイラストでやさしく解説します。			

社会		
369.3/マ/	地震に強い収納のきほん ローリングストックの始め方、防災ポーチ・リュックの作り方…。熊本地震を経験した防災収納インストラクター・松永りえが、実体験から生まれた「安全な家」の作り方を紹介する。書き込み式のワークも掲載。	松永りえ／著 扶桑社
芸術、工芸		
774/ト/	あらすじと写真でわかる!はじめての歌舞伎 はじめての人に贈る、歌舞伎入門。比較的上演頻度の高い 50 演目を選び季節ごとに掲載。あらすじ、観どころ、今日では省かれてしまうことの多い「隠れた物語」などを、写真とともにわかりやすく解説する。	利根川裕／著 世界文化社
日本文学－文学・詩歌・小説・エッセイ		
913.6/7オ/	赤ずきん、イソップ童話で死体と出会う。 「うさぎとかめ」がリアルに競走!? ウソをついてはいけませんと学んだ「オオカミ少年」がゲームになった!? 赤ずきんが推理の旅に出る、童話×ミステリの連作短編第 4 弾。『小説推理』掲載を単行本化。	青柳碧人／著 双葉社
913.6/17/	鎌倉茶藝館 生きる気力をなくし、ふと訪れた鎌倉で暮らし始めた美紀は、古い洋館の台湾茶カフェ「鎌倉茶藝館」で働き始める。そこには、新たな出会いやときめきがあった。そして…。『小説宝石』掲載を大幅に加筆修正。	伊吹有喜／著 光文社
913.6/ソメ/	ひきこもり家族 長年ひきこもっていた 19 歳の僚太と 44 歳の父大知は強引に自宅から引き出され、ほかの 3 人とともに熊本の研修施設で囚人のような生活を強いられる。監獄のような扱いに抗い、5 人は施設長を殺めてしまい…。	染井為人／著 光文社
913.6/ハヤ/	さらば!店長がバカすぎて カリスマ書店員・谷原京子は、長いスランプが続いていた。ぶっ飛んだ店長や書店を取り巻く厳しい状況と日々闘いながらも、自らの人生と書店の未来を切り開いていこうとするが…。『ランティエ』連載に加筆・訂正。	早見和真／著 角川春樹事務所
913.6/ヤズ/	9 月 1 日の朝へ 9 月 1 日は、日本で子どもがいちばん多く命を絶ってしまう日。父親と、3 人の「母親」がいる高永家の 4 兄妹が夏休みに知った、痛み、喪失、孤独とは…。静かな感動が胸を満たす青春家族小説。『小説推理』連載に加筆、訂正。	柳月美智子／著 双葉社
929.1/ハ/	涙の箱 ある村にひとり子どもが住んでいた。その子は、みんながまるで予測も理解もできないところで涙を流した。ある日、涙を集めている男が、子どもを訪ねてきて…。ノーベル文学賞作家ハン・ガンがえがく、大人のための童話。	ハンガン／作 評論社
930.2/ハ/	ラフカディオ・ハーンが愛した妻小泉セツの生涯 2 人はいかにして出会い、結婚し、物語を生み出すまでになったのか。それぞれの幼少期や青年期は。セツが語る物語や怪談のルーツはどこなのか…。ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の妻、セツの生涯を丁寧に描く。	櫻庭由紀子／著 内外出版社
953.7/マ/	最果ての子供たち 1992 年、東フランスの田舎町。14 歳のアントニーは盗んだカヌーでたどり着いたビーチで、地元の有力者の娘ステファニーと出会い…。衰退する地方の現実と、出口のない衝動を描いた青春小説。	ニコラ・マチュー／著 早川書房

開館時間【本館】平日 10:00～19:00 土日祝 10:00～17:00
【帷子・桜ヶ丘分館】9:00～17:00
【カニミライブ図書館】10:00～20:00(年中無休)

本館、帷子・桜ヶ丘分館休館日
毎週月曜日、毎月最終金曜日
10 月 6, 13, 20, 27, 31 日

スマートフォン用
サイト



「図書館だより」2025 年 10 月号 発行: 可児市立図書館 本館

所在地: 岐阜県可児市広見 570-5 電話: (0574) 62-5120 <https://www.kani-lib.jp/>